

研究構想シート		学校名	出雲市立中部小学校
		氏名	三浦 良久
A 研究主題		ふるさとに学び、今を問い続け、よりよい未来を創る子供の育成 ～ 魅力ある教材から「問い」をもち、追究していく社会科の授業づくり ～	
B 研究の目的		めざす子供の姿の具現化に向け、社会科の授業における効果的な指導の在り方を明らかにする。	
C 子どもの実態	E 手立て・内容（研究仮説）		D めざす子どもの姿
	F 検証方法		
	G 研究計画		
<p>・社会科の学習に対して、好き、楽しいといった肯定的な受け止めをしている児童が多い。</p> <p>・高学年において、資料の読み取りはできても、そこから自分の考えをもつことに課題がある児童が一定数いる。</p> <p>・話し合いの場面で自分の考えをもち、伝え合うことのできる児童は固定化している。</p>		<p>①自分ごとのできる社会的事象の教材化を図れば、社会的事象から関心をもち、追究すべき課題を発見する子が育つであろう。</p> <p>②社会認識を深める単元構成の工夫をすれば、課題解決に向け、粘り強く考える子が育つであろう。</p> <p>③社会的な態度形成に向かう学びの場を設定すれば、多様な考えを受容し、よりよい社会を目指して行動を起こせる子が育つであろう。</p>	
		<p>①社会的事象から関心をもち、追究すべき課題を発見する子</p> <p>②課題解決に向け、粘り強く考える子</p> <p>③多様な考えを受容し、よりよい社会を目指して行動を起こせる子</p>	
		<p>・事前事後のアンケート調査 →1学期、2学期にそれぞれ重点単元を位置づけ、1学期単元の学習前、2学期単元の学習後に児童を対象とした意識調査を行い、結果を分析する。</p> <p>・授業での児童の発言や記述の分析 →単元の学習問題や本時の問いに対する児童の考えが学習を通してどのように変容したのかが捉えることで、効果的な指導の在り方を明らかにする。</p>	
		<p>4月：研究概要の提案 5月：事前アンケートの実施 指導案作成・事前検討 6月：1学期重点単元授業 訪問指導・研究協議 7月：2学期重点単元の検討 8月：指導案作成・事前検討 10月：2学期重点単元授業（全小社11/1） 11月：事後アンケートの実施 12月：研究の分析・振り返り 1月：研究紀要原稿作成 2月：来年度の研究内容の検討</p>	